

みんなで応援！県北の家庭教育

発行所

福島県教育庁県北教育事務所
福島市杉妻町2番16号
電話024-521-2814

家庭教育応援企業
にお勤めの皆様へ



家庭教育応援企業にお勤めの皆様には、日頃より本県の家庭教育の推進への御理解と御協力をいただきありがとうございます。

今回の通信では、新しく申し込まれました企業様の紹介と県北教育事務所の取組であるふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業、親子の学び応援講座の内容についてお知らせします。

新たに1社が家庭教育応援企業に！



有限会社出川工作所（二本松市宮戸）

有限会社出川工作所は、製造業（精密機械加工）を営んでいます。開発した製品が福島県発明展で県知事賞を受賞するなど優れた部品を製作されています。

経営者自身がPTA活動など学校教育へ協力的で、従業員が参観日等の学校行事に参加することができるように働きかけたり、育児休業の周知を徹底したり、子育ての支援を行ったりしています。また、地域の子どもたちに従業員が働く姿を見せたり、仕事を体験させたりしています。



<取組項目>

- 学校行事への参加促進
- 学校との協働活動
- 地域行事への協力・支援



有限会社出川工作所さんの
ホームページはこちら！

お申し込みありがとうございました。

県北地区の家庭教育応援企業は196社になりました。企業一覧は県北教育事務所ホームページにありますので、御覧ください。（右にある2次元コードからも見ることができます。）



県北教育事務所の取組を紹介します

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

この事業は、子どもたちが学校や家庭、地域の人との体験活動や交流活動を通して、感じた思いや願いを17字で表現し、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、人と人の絆を深めることをねらいとして実施しています。

県北地区では、5563点と過去最多の応募がありました。その中から、県入賞作品をご紹介します。また、県北地区第一次選考を通過した作品278点を作品集にまとめました。心あたたまる作品ばかりですので、どうぞ御覧ください。



【絆部門】

- | | |
|------|---------------------------------------|
| 最優秀賞 | お父さん いっしょに食べよう オンライン (小4) |
| | いただきます ^{ひとり} 単身の夕げに 子の笑顔 (父) |
| 優秀賞 | 聞いててね 校歌を全部 覚えたよ (小1) |
| | 我が母校 親子で歌い 懐かしむ (母) |
| 佳作 | しわくちゃの えがおにつられ わらいあい (小1) |
| | 孫の声 聞き取りできず 笑うだけ (曾祖母) |

作品集は下の2次元コードから見る事ができます。



【ふるさと部門】

- | | |
|-----|--------------------------|
| 優秀賞 | こわかった ししまいいつか ぼくがやる (小4) |
| | いつの日か 息子につなぐ 笛の音 (父) |



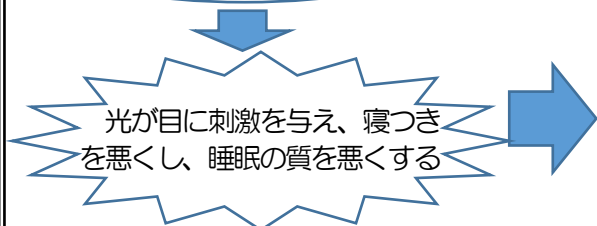
「親子の学び応援講座」

この事業では、PTAと連携し、親自身の学ぶ機会の充実と家庭での実践活動を支援しています。川俣町と福島市で実施された講演会についてご紹介します。

スマホ・ゲームの利用が睡眠に与える影響～ネット依存予防のために～

講師：福島県立医科大学医学部疫学講座主任教授 大平 哲也 氏
 日時：令和5年11月21日(火) 主催：川俣町PTA 連絡協議会

寝る前のスマホ利用



- #### 【良い睡眠を得るためのコツ】
- 規則正しい食生活
 - 決まった時間に起きる
 - 定期的な運動
 - 入浴は就寝1～2時間前までに
 - ベッドルームは寝るためだけに使う



研修会の詳しい内容については県北教育事務所ホームページにありますので、御覧ください。(右にある2次元コードからも見る事ができます。)



こどものネット・ゲーム依存を防ぐには

講師：一般社団法人 グレイス・ロード甲斐サポートセンターセンター長 坂本 拳 氏
日時：令和5年12月9日(土) 主催：福島市小中学校PTA 連合会

「依存」とは、他に頼って生きることであり、人は何かしらに依存して生きている。

「よくない依存」
極端な依存により、偏りがでている状態

「よい依存」
適度な依存によりバランスが取れている状態

「依存症」
脳の機能が弱くなり、やめたくてもやめられない状態



ネット・ゲーム依存症を予防するためには



- (1) ネット利用時間を設定し、ネット・学業や仕事・私生活の適切なバランスを保つ。
- (2) 定期的にデバイスから離れ、オフラインの活動を楽しむ時間を作る。
- (3) 不要な通知を制限し、集中力を維持する。
- (4) 目的もなくゲームやネットを利用しない。
- (5) 睡眠、運動、食事に注意し、健康を維持する。

依存症は身近な病気ですが、回復できます。依存症には、適切なサポートと回復に向けたプログラムの実践が必要です。依存症が疑われる場合は、1人で抱え込まず、専門機関や周囲のサポートを受けることが大切です。

研修会の詳しい内容については県北教育事務所ホームページにありますので、御覧ください。(右にある二次元コードからも見ることができます。)



家庭教育応援企業の取組をお知らせください

各社の素晴らしい活動の様子をHPや企業通信等で広く紹介し、効果的な取組等を共有することで家庭教育の充実を目指していきたいと考えています。ぜひ、活動報告書にてお知らせください。日程を教えていただければ取材にも伺います。



お問い合わせ・お申し込み

福島県教育庁県北教育事務所 総務社会教育課 担当：佐藤

TEL：(024) 521-2814 FAX：(024) 521-2870

E-mail：satou_hidetaka_01@pref.fukushima.lg.jp